

単元名 2 多様な視点から ー思考のレッスン 具体と抽象

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 問題1, 2に取り組み, 複数の情報をまとめて抽象化したり, 言葉の意味を具体例を挙げて説明したりすることができる。
(3) 学習課題に沿って, 積極的に具体と抽象の関係について理解しようとする。

標準的な展開例

11210109_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 具体と抽象の概念を理解し, 問題に取り組む。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 「具体」と「抽象」について知ろう。 ○ 教材文を読み, 具体と抽象の概念を理解する。 ○ 問題1に取り組む。 ○ 問題2に取り組む。 ○ 学習を振り返る。	・ 「具体」「具体化」「抽象」「抽象化」などの用語を理解させ, 今後の学習に生かせるようにする。 ・ 「具体化のための言葉」「抽象化のための言葉」(p. 53)を使わせるとよい。 【評】問題に取り組む活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・ 考えを伝え合うときに, 具体と抽象の観点を意識しながら話し合うと理解が深まることを確認する。

【 備 考 】

この単元では, 第1学年での学習を踏まえ, 文章の構成や展開の仕方, 事実と意見の示し方に注意しながら, 説明の工夫に気付き, 書き手の意図や主張を理解することを目的としている。また, 自分の提案が, 相手に興味・関心をもたれるには, どのような工夫をすればよいのかを考えさせる。説明文の工夫の読み取りとも関連づけながら, プレゼンテーションに必要な材料の集め方, 資料や機器などの効果的な使い方を考えさせたい。